

野見湾における赤潮発生予測情報 R8-1

【概要】

- ・ 令和8年4月15日の環境調査で、コクロディニウム・ポリクリコイデスの細胞密度が1 mLあたり10細胞（注意基準値）を超えました。
- ・ これまでの知見から、コクロディニウム・ポリクリコイデスの細胞密度が10細胞/mLを超えると、その後、1週間以内で漁業被害が強く懸念される100細胞/mL（警戒基準値）に達する傾向があります。
- ・ 現在、湾内の深度5mにおける水温は19℃台であり、コクロディニウム・ポリクリコイデスが**増殖可能な環境にあることから、今後増殖する可能性があります。**
- ・ これらのことから、今後当該プランクトンが増殖可能な状況が続けば、**明日から4月下旬の間に100細胞/mLに達する可能性が高いと考えられます。**
- ・ 海や養殖魚に変化が生じたときは、すみやかに対応できるように十分注意して下さい。

【赤潮発生予測について】

- ・ 水産試験場では、過去の野見湾におけるコクロディニウム・ポリクリコイデスの赤潮発生状況をデータ化し、赤潮発生シナリオを構築しました。
- ・ そのシナリオから赤潮発生予測マニュアルを作成し、本年度から予測情報を提供します。

【コクロディニウム・ポリクリコイデスの赤潮発生予測マニュアル】

- ① 海水中のコクロディニウム・ポリクリコイデスの遺伝子量が増加傾向にあると、その後、赤潮の発生リスクが高い
- ② 調査定点の細胞密度が10細胞/mLを超えると、1週間以内にコクロディニウム・ポリクリコイデスが100細胞/mL以上まで増殖する可能性が高い
(これまでの赤潮発生までの日数：最短2日、最長17日)
- ③ 深度5mの水温が14～19℃になると、コクロディニウム・ポリクリコイデスの赤潮が発生する傾向がある

以上